

第23期事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

お客様の
その笑顔のために

ASJ
ADMIRAL SYSTEMS INC.

ASJ
ホスティングサービス



信頼と安心をお届けします。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第23期事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、ホスティングサービス及びインターネットグループウェアサービスを中堅・中小企業及び個人事業主様に提供するインターネットサーバサービス事業と、オンラインベースボールゲームやアフィリエイトプログラム、ウェブコンテンツの企画・制作等インターネット上における様々なコンテンツを提供するデジタルコンテンツ事業の2種類の事業を展開しております。

第23期における当社グループの事業活動といたしまして、インターネットサーバサービス事業では、ASP型モバイル対応ショッピングカート「ショッパー」とASP型オンライン予約管理システム「eリザーブ」の提供を開始いたしました。また、デジタルコンテンツ事業では、第22期中に設立いたしました株式会社スポーツレイティングスにおきまして、社団法人日本野球機構承認として初となるオンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」の提供を開始いたしました。

その結果、第23期は、連結売上高、連結経常利益及び連結当期純利益において過去最高の業績を記録いたしました。

今後も当社グループは積極的に新たなサービスを提供していくとともに、M&Aを中心とした積極的な投資活動を行っていくことにより、さらなる業容の拡大を目指していく所存であります。

今後も、株主の皆様のご期待に沿えますよう、当社グループ一丸となって全力を挙げてまいりますので、宜しくお引き立てのほど、お願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役会長 兼 社長

丸山 治昭

ASJ Business Domain

インターネットサーバサービス事業

インターネットサーバサービス事業では、お客様のニーズに合わせた高品質・低価格のホスティングサービス「ASJホスティングサービス」及びどなたでも簡単に利用可能なインターネットグループウェアサービス「HotBiz」の2種類のサービスの提供を主に展開しております。

「ASJホスティングサービス」は、安定したサーバ環境の提供、電話を中心とした丁寧・親切的サポート、用途に合わせて選べる充実のオプションサービスを用意している共用ホスティングサービスであり、平成8年のサービス開始時から現在までに2万社を超える利用実績がある当社グループの主力サービスの一つとなっております。

また、「HotBiz」は、インターネットで当社サーバにアクセスすることで利用可能なグループウェアサービスであり、企業の情報共有を同サービスで行うことによって、安価での業務効率化や書類のペーパーレス化が可能となります。

第23期中におきましては、「ASJホスティングサービス」においてASP型モバイル対応ショッピングカート「ショッパー」とASP型オンライン予約・受付管理システム「eリザーブ」の2種類のサービスの提供を開始いたしました。

「ショッパー」は、インターネット上でショップを簡単に開店することができるサービスであり、通常の売上管理はもちろんのこと、在庫管理、メールマガジンの発行、アフィリエイト機能やポイントサービスまで全ての機能をブラウザ上で操作ができるため、初めての方でもお勤めのショッピングカートとなっております。

「eリザーブ」は、ホテル・旅館から美容院、病院、飲食店など様々な業態において予約・受付管理システムを簡単に構築できるサービスとなっております。モバイル対応となっていることから、携帯電話で予約を受付けるサイトを構築することも可能となっております。



当期の概況 …………… 売上高 8 億 46 百万円

連結売上高構成比

77.6%

当期においては、既存のホスティングサービスに専門性の高いアプリケーションを搭載し、高付加価値のサービス提供を行うことで、顧客単価の向上並びにアプリケーションを必要とする新規顧客層の開拓を目標に掲げ、開発活動を行ってきました。その結果、平成17年7月にはASP型モバイル対応ショッピングカート「ショッパー」を、同年11月からはASP型オンライン予約・受付管理システム「eリザーブ」の提供を開始しました。また、既存サービス全般の増強、インターネット広告を中心とした広告宣伝活動並びに代理店制度を活用した販売戦略により、顧客を獲得してきました。こうした事業活動の結果、当事業における当期の売上高は8億46百万円（前年同期比104.4%）、営業利益は2億71百万円（前年同期比124.2%）の増収増益となりました。

デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業では、ウェブコンテンツの企画・制作及びオンラインゲームやアフィリエイトプログラムサービスといったインターネット上における様々なコンテンツの提供を行うことを主として展開しております。

ウェブコンテンツの企画・制作につきましては、高度な技術を有したウェブデザイナーを多数有している株式会社イー・フュージョンが行っております。

アフィリエイトプログラムサービス「Leaffi(リーフィ)」とは、成果報酬型広告システムであります。リアルタイムで成果を確認できる機能や複数のプログラムの一元管理を行うことが可能となっている等、様々な機能を搭載することにより、多数の広告主様及びパートナー様にご利用いただいております。

第23期中におきましては、株式会社スポーツレイティングスにおいて、社団法人日本野球機構承認としては初となるオンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」の提供を開始いたしました。

「ドリームベースボール」では、株式会社スポーツレイティングスにおいて開発したプロ野球選手評価システム「BBR(Baseball Rating)」を活用しているとともに、プロ野球で活躍する実在のチームや選手の実名・写真を活用することによって、実際の試合さながらのリアリティと臨場感を実現し、平成18年4月末日現在45,000人を超えるユーザーの皆様にご利用いただいております。



当期の概況 …… 売上高 **2億44百万円**

連結売上高構成比

22.4%

当期においては、アフィリエイトプログラムサービス「Leaffi(リーフィ)」及びウェブコンテンツの企画・制作については、ほぼ期初の予定通り、推移いたしました。

新規サービスとして、平成18年3月より、(株)スポーツレイティングスで、オンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」の提供を開始し、知名度向上並びに利用者獲得を目的とした広告宣伝活動を2月より先行的に開始した結果、平成18年4月末日現在、45,000人を超えるユーザー様にご利用いただいております。こうした事業活動の結果、当事業における当期の売上高は2億44百万円(前年同期比126.2%)の増収となりました。

ドリームベースボール

<http://www.d-bb.com/>



「ドリームベースボール」は、社団法人日本野球機構承認としては初となるオンラインベースボールゲームであり、平成18年3月31日のセ・リーグ公式戦開幕と同時にサービスの提供を開始いたしました。

「ドリームベースボール」は、同サービスで利用できるインターネット上の選手カードを集めて、自分独自のチームを作成し、ユーザー各々が作成したチーム毎の活躍度によってランキングを競うタイプのオンラインベースボールゲームであります。

チーム毎の活躍度につきましては、NPB-BISプロ野球公式記録を使用し、株式会社スポーツレイティングスが開発したプロ野球選手評価価格付けシステム「BBR (Baseball Rating)」によって公平に算出しております。また、ゲームでは実在するチーム・選手の実名・写真・ロゴなどをふんだんに活用しているため、実際の試合さながらのリアリティと臨場感を実現しております。



リーフィ

<http://www.leaffi.jp/>

「Leaffi」は当社が提供するアフィリエイトプログラムサービスです。

アフィリエイトプログラムとは、サイトを運営しているパートナーが自らのサイトを通じて、広告主が販売したい商品やサービスを掲載しているサイトへ誘導・集客し、その販売実績に応じた報酬をパートナーが受け取ることができる成果報酬型広告の一つです。

アフィリエイトプログラムは、広告主側は成果に応じた広告宣伝費で幅広く宣伝活動を行うことができるため、広告宣伝費の削減やクチコミによる販売として誘導することが可能であることから、市場は急速に拡大しております。

当社が提供する「Leaffi」は、リアルタイムで成果報酬を確認することができることや複数のプログラムでも一元管理が可能となっていることが特徴となっております。また、高い成果を挙げているパートナーに対しましては、Superパートナー制度を導入しており、成果に応じて、通常の報酬にインセンティブを付加していることから、他のアフィリエイトプログラムサービスと比較して高額な報酬を得ることが可能となっております。



今後の事業戦略

当社が位置するインターネット業界全般の動向ですが、インターネット回線の低価格・高速化を背景に、ブログやSNS（ソーシャルネットワークサービス）、オンラインゲームなどのインターネットコミュニティがますます多様化し、業界全体が活況を呈することから、引き続き需要拡大が見込まれると思われまます。このような環境の中、当社は次のような事業戦略を推進してまいります。

■インターネットサーバサービス事業

インターネットサーバサービス事業の現状といたしましては、当社グループの主力サービスでありますASJホスティングサービスを中心に、安定的に顧客は増加し、売上及び収益も増加傾向にあります。

その中で、現在ご利用頂いている顧客の皆様に対しましては、提供を開始した「メールウイルス駆除サービス」を標準装備いたしました。このように、現在提供しているサービスをさらに増強していくことにより、顧客満足度の向上を目指してまいります。

また、新規顧客の獲得につきましては、「HotBiz」や「ショッパー」、「eリザーブ」といった専門的なアプリケーションを付加したサービスを多面的に展開していくことにより、同業他社との比較優位性を保つと共に、顧客単価の維持・向上に努めてまいります。

■デジタルコンテンツ事業

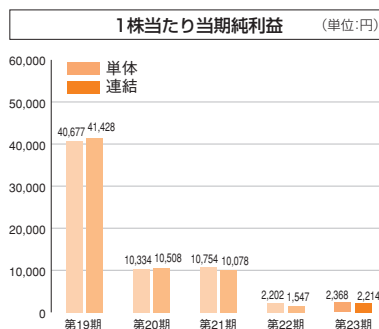
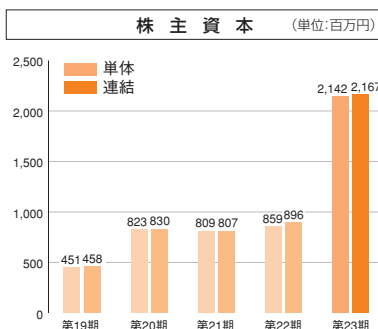
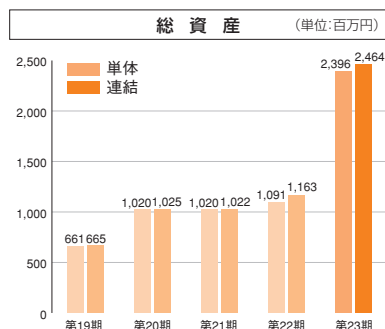
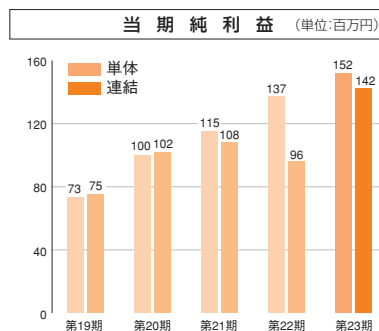
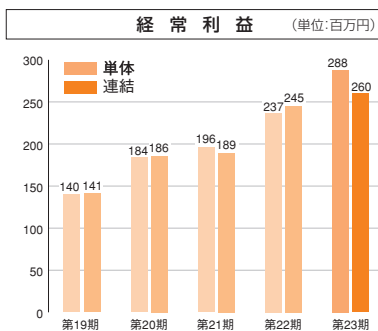
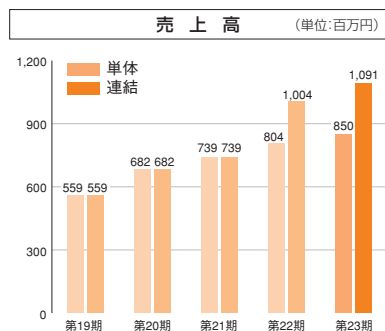
デジタルコンテンツ事業の現状といたしましては、ウェブコンテンツの企画・制作において堅調に受注を獲得しており、安定的な売上及び収益が見込まれます。また、「ドリームベースボール」や「Leaffi」につきましても順調に顧客が増加しており、当社グループ内において成長著しいサービスであります。

その中で、ウェブコンテンツの企画・制作及び「Leaffi」につきましては、新規市場の開拓を目的としたサービスラインアップの強化及び既存顧客のニーズに応えた既存サービスの増強により、売上及び利益の向上を目指してまいります。

また、「ドリームベースボール」につきましては、スポーツニュースを扱うメディアを中心にマーケティング活動を行うことにより、認知度の向上並びに新規ユーザーの獲得に努めてまいります。さらに、社団法人日本野球機構承認である特性を活かし、様々なイベントの企画及びコンテンツの提供を行っていくことにより、プロ野球ファンの皆様が無永く楽しめるサービスを提供していくことで、継続して利用頂くユーザーの確保及び顧客単価の向上を目指してまいります。



決算ハイライト (連結及び単体)



科目	単位	第19期		第20期		第21期		第22期		第23期	
		単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結
売上高	(千円)	559,822	559,822	682,525	682,525	739,430	739,485	804,637	1,004,906	850,492	1,091,691
経常利益	(千円)	140,512	141,879	184,655	186,790	196,869	189,745	237,267	245,526	288,549	260,635
当期純利益	(千円)	73,667	75,027	100,506	102,193	115,253	108,006	137,593	96,681	152,097	142,220
総資産	(千円)	661,111	665,058	1,020,666	1,025,094	1,020,957	1,022,157	1,091,259	1,163,982	2,396,206	2,464,259
株主資本	(千円)	451,994	458,236	823,751	830,049	809,148	807,276	859,177	896,714	2,142,000	2,167,949
1株当たり当期純利益	(円)	40,677.67	41,428.60	10,334.90	10,508.33	10,754.27	10,078.01	2,202.87	1,547.87	2,368.55	2,214.74

営業の概況 (連結)

当連結会計年度（平成17年4月1日～平成18年3月31日）における連結売上高は、過去最高の売上高となる1,091百万円（前年同期比108.6%）となりました。

売上高が増加した要因としましては、インターネットサーバサービス事業においては、既存サービスの継続的強化を実施するとともに、セキュリティ面を強化したモバイル対応Eコマース支援サービス「ショッパー」及びオンライン予約・受付管理システム「eリザーブ」の提供を開始したことにより、顧客を獲得したことによるものであります。

デジタルコンテンツ事業においては、アフィリエイトプログラムサービス「Leaffi」及びウェブコンテンツの企画・制作の両サービスにて、ほぼ予定通り順調に推移してまいりました。

また、新規サービスとしましては、平成18年3月より当社グループ会社である㈱スポーツレイティングスより、社団法人日本野球機構承認として初となるオンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」の提供を開始し、平成18年4月末日現在45,000人を超えるユーザー様にご利用いただいております。

利益面につきましては、「ドリームベースボール」に係る先行的コストが発生したものの、売上高が順調に増加した結果、連結営業利益及び連結経常利益はそれぞれ246百万円（前年同期比100.7%）、260百万円（前年同期比106.2%）と増益となり、連結当期純利益につきましては、142百万円（前年同期比147.1%）と順調に推移いたしました。

次期の見通し

インターネットサーバサービス事業におきましては、既存サービスの強化を目的として、平成18年6月12日より「メールウイルス駆除サービス」の標準搭載を開始いたしました。また、販売代理店制度の充実を図り、販売代理店の増加によるチャンネルの拡大を推進しております。このように、既存サービスの強化、チャンネルの拡大及び現在開発中の新サービスの提供によって顧客の増加が見込めることから引き続き堅調に推移していくものと予測しております。

また、デジタルコンテンツ事業におきましては、ウェブコンテンツの企画・制作の受注が順調に推移していることから、引き続き堅調に推移していくものと予測しております。アフィリエイトプログラムサービス「Leaffi（リーフィ）」につきましても、広告主及びパートナーが順調に増加していることから、収益が増加していくものと予測しております。更に、株式会社スポーツレイティングスが提供する「ドリームベースボール」は平成18年4月末日現在45,000人を超えるユーザーにご利用いただいております。順調に当社グループのサービスの柱の一本に成長しつつあります。

その結果、次期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高1,180百万円（前年同期比108.2%）、連結経常利益270百万円（前年同期比103.8%）、連結当期純利益150百万円（前年同期比105.6%）を予定しております。

連結決算概要

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	1,666,330	655,287
現金及び預金	1,382,844	585,584
受取手形及び売掛金	—	50,847
売掛金	44,948	—
たな卸資産	2,465	4,096
繰延税金資産	5,619	4,720
預け金	191,170	—
その他	39,438	10,183
貸倒引当金	△ 155	△ 144
固定資産	790,793	508,694
有形固定資産	177,129	185,132
建物及び構築物	108,734	111,494
車両運搬具	2,898	6,913
工具器具備品	36,496	37,723
土地	29,000	29,000
無形固定資産	284,388	264,915
借地権	88,106	88,106
ソフトウェア	119,932	90,740
連結調整勘定	73,440	83,131
その他	2,909	2,937
投資その他の資産	329,275	58,647
投資有価証券	303,557	32,400
繰延税金資産	6,451	—
その他	19,915	28,645
貸倒引当金	△ 648	△ 2,398
繰延資産	7,135	—
新株発行費	4,079	—
社債発行費	3,055	—
1 資産合計	2,464,259	1,163,982

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	296,309	260,687
買掛金	13,942	18,571
未払法人税等	62,402	63,402
繰延税金負債	194	—
未払消費税等	12,927	10,530
前受金	159,339	141,142
その他	47,503	27,040
固定負債	—	2,501
その他	—	2,501
2 負債合計	296,309	263,188
(少数株主持分)	—	4,079
(資本の部)		
資本金	919,250	319,250
資本剰余金	936,506	336,506
利益剰余金	492,664	381,718
その他有価証券評価差額金	△ 11,091	—
為替換算調整勘定	654	790
自己株式	△ 170,034	△ 141,551
3 資本合計	2,167,949	896,714
負債、少数株主持分及び資本合計	2,464,259	1,163,982

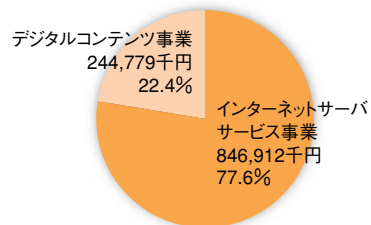
Point 1 資産の状況

当連結会計年度末における資産の状況は、転換社債型新株予約権付社債の発行及び利益の計上により現金預金が増加したことに加え、サービスを提供するために開発したソフトウェアの増加により、前連結会計年度末と比べ1,300,277千円増加いたしました。

Point 2 負債の状況

当連結会計年度末における負債の状況は、一年払いの顧客が順調に増加したことによる前受金の増加により、前連結会計年度末と比べ33,120千円増加いたしました。

事業別売上高構成比



Point 3 資本の状況

当連結会計年度末における資本は、転換社債型新株予約権付社債に付された新株予約権の権利行使による資本金、資本剰余金の増加並びに利益の増加による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末と比べ1,271,235千円増加いたしました。

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期		前期	
	(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)		(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)	
売上高	1,091,691		1,004,906	
売上原価	375,185		338,557	
売上総利益	716,506		666,348	
販売費及び一般管理費	470,108		421,657	
広告宣伝費	71,185		43,646	
役員報酬	92,627		81,880	
給与手当	124,336		131,147	
賞与	—		1,281	
福利厚生費	27,043		25,820	
支払手数料	52,257		52,606	
減価償却費	18,624		19,379	
研究開発費	14,369		8,927	
貸倒損失	1,333		—	
その他	68,330		56,967	
営業利益	246,398		244,691	
営業外収益	22,548		3,813	
受取利息	152		139	
受取配当金	1,270		1,048	
有価証券売却益	—		2,507	
投資有価証券売却益	19,099		—	
為替差益	618		—	
その他	1,406		118	
営業外費用	8,311		2,979	
支払利息	296		1,032	
新株発行費	—		90	
新株発行費償却	2,171		—	
社債発行費償却	3,055		—	
為替差額	—		942	
自己株式関連費用	214		728	
消費税等差額	2,537		—	
その他	35		186	
経常利益	260,635		245,526	
特別利益	4,006		1,459	
貸倒引当金戻入益	405		1,459	
子会社株式受贈益	3,600		—	
特別損失	8,434		46,475	
固定資産売却損	409		—	
固定資産除却損	735		585	
関係会社整理損	3,409		—	
買取関連費用	—		5,500	
連結調整勘定償却額	—		40,389	
子会社本社移転費用	3,880		—	
税金等調整前当期純利益	256,207		200,509	
法人税、住民税及び事業税	114,427		105,725	
法人税等調整額	△ 704		△ 1,003	
少数株主利益または損失	△ 263		894	
当期純利益	142,220		96,681	

連結決算概要

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	216,759	169,683
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 357,486	△ 24,701
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,126,107	△ 180,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,018	185
現金及び現金同等物の増減額	987,399	△ 34,904
現金及び現金同等物の期首残高	585,584	620,488
現金及び現金同等物の期末残高	1,572,983	585,584

Point 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、216,759千円と前年同期に比べ47,076千円(27.7%)の増加となりました。主たる要因としては、税金等調整前当期純利益が順調に増加したためであります。

Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、357,486千円と前年同期に比べ332,785千円(1,347.2%)の増加となりました。主たる要因としては、アプリケーション開発による無形固定資産の増加並びに投資有価証券の取得によるものであります。

Point 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動の結果得られた資金は、1,126,107千円(前年同期は180,072千円の使用)となりました。主たる要因としましては、転換社債型新株予約権付社債の発行によるものであります。

連結剰余金計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	336,506	257,000
資本剰余金増加高		
株式交換	—	79,506
新株予約権付社債の転換	600,000	—
資本剰余金期末残高	936,506	336,506
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	381,718	327,906
利益剰余金増加高		
当期純利益	142,220	96,681
利益剰余金減少高		
配当金	31,275	31,155
自己株式処分損	—	11,714
利益剰余金期末残高	492,664	381,718

単体決算概要

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	1,420,783	445,612
固定資産	968,287	645,646
有形固定資産	172,507	174,834
無形固定資産	210,201	172,778
投資その他の資産	585,578	298,033
繰延資産	7,135	—
資産合計	2,396,206	1,091,259
(負債の部)		
流動負債	254,206	232,082
負債合計	254,206	232,082
(資本の部)		
資本金	919,250	319,250
資本剰余金	857,000	257,000
利益剰余金	545,301	424,479
其他有価証券評価差額金	△ 9,517	—
自己株式	△ 170,034	△ 141,551
資本合計	2,142,000	859,177
負債及び資本合計	2,396,206	1,091,259

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
売上高	850,492	804,637
売上原価	201,923	209,538
販売費及び一般管理費	369,497	360,524
営業利益	279,071	234,574
営業外収益	15,089	3,687
営業外費用	5,610	994
経常利益	288,549	237,267
特別利益	3,600	—
特別損失	36,836	6,084
税引前当期純利益	255,314	231,183
法人税、住民税及び事業税	104,592	94,116
法人税等調整額	△ 1,376	△ 525
当期純利益	152,097	137,593
前期繰越利益	392,904	298,300
自己株式処分差損	—	11,714
当期未処分利益	545,001	424,179

利益処分

(単位:千円)

科目	当期	前期
当期末処分利益	545,001	424,179
利益処分数額		
配当金	34,447	31,275
次期繰越利益	510,554	392,904

株式の状況

(平成18年3月31日現在)

利益還元方針について

当社グループは株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績及び企業体質の強化に向け内部留保の確保を勘案した上で、利益配当を実施していく方針です。株主配当は、配当性向20～30%を目安とし、1株当たり当期純利益を年々増加していくに伴い、1株当たりの配当金増額を継続的な努力として、長期的に安定した配当を実施していきたいと考えています。

株式について

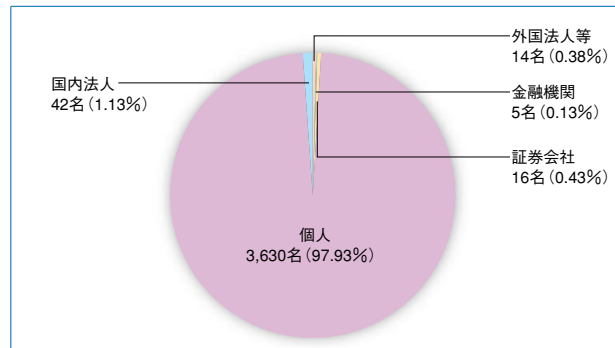
会社が発行する株式の総数	264,000株
発行済株式の総数	72,535.94株
株主数	3,707名

大株主

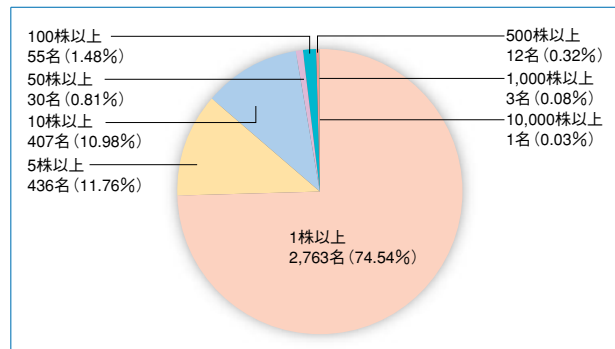
株主名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
丸山治昭	31,656	45.96
日本証券金融株式会社	1,750	2.54
丸山君子	1,050	1.52
田村公一	859	1.24
黒岩潤司	855	1.24
堀正明	850	1.23
ASJ従業員持株会	768	1.11
青木邦哲	747	1.08
室田和男	737	1.07
田代博之	720	1.04
丸山芳美	720	1.04

(注)上記のほか、自己株式が3,641.94株あります。

所有者別株主分布状況



所有数別株主分布状況



会社概要

(平成18年6月24日現在)

会社名	株式会社アドミラルシステム (ADMIRAL SYSTEMS INC.)		
略称	ASJ		
証券コード	2351		
所在地	〒332-0023 埼玉県川口市飯塚1-18-8		
設立	昭和59年2月15日		
資本金	9億1,925万円		
資格・認定	JPNIC正会員 JPNIC IPアドレス管理指定事業者 JPRS正規指定事業者 メルボルンIT (INWW) 戦略パートナー 日本ベリサイン正規代理店 NSIインターナショナル・プレミア・パートナー 一般第2種電気通信事業者 A-08-1621 社団法人 日本テレコムサービス協会会員 財団法人 財務会計基準機構会員		
役員	代表取締役会長兼社長 丸山治昭 常勤監査役 室田和男 常務取締役 青木邦哲 監査役 石井次男 常務取締役 沼口芳朗 監査役 藤原哲彦 取締役 岡本彰彦 監査役 安永高		
主要子会社	株式会社スポーツレイティングス 東京都渋谷区渋谷2-14-18 あいおい損保 渋谷ビル5階 TEL : 03-5766-0800 FAX : 03-5766-0909 株式会社イー・フュージョン 東京都渋谷区渋谷2-14-18 あいおい損保 渋谷ビル5階 TEL : 03-5766-0521 FAX : 03-5766-0522 ASUSA Corporation Inc. 530 Center Street, Suite #390 Salem, Oregon 97301 USA		

ASJディスクロージャーポリシー

当社は、株主及び投資家の皆様に向けて、適時に正確かつ公平な情報を提供するため、株式会社東京証券取引所の定める適時開示規則（以下「適時開示規則」）に沿ってディスクロージャーを行っております。また、適時開示規則に該当しない情報についても、特定の株主及び投資家に情報が集中しないように公平な開示を行い、株主及び投資家にとって有用な情報の提供を行うことをディスクロージャーの基本方針としております。但し、当社では競争優位上あるいは守秘義務契約上、特定の情報にお答えできない場合がございますのであらかじめご了承ください。

株主メモ

- 事業年度* 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金受領* 3月31日
- 株主確定日
- 中間配当金受領 9月30日
- 株主確定日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人* 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告方法 公告掲載URL <http://www.asj.ad.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた際には、日本経済新聞に公告いたします。)

※平成18年6月開催の定時株主総会の定款変更による用語訂正を反映いたしました。

●株式に関するお手続き用紙のご請求について

【お知らせ】

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-244-479 (三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)
0120-684-479 (三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) 通話料無料

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

当社ウェブサイトでも詳しい情報をご覧になれます。

<http://www.asj.ad.jp/>



オンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」

<http://www.d-bb.com/>



ASJ
ADMIRAL SYSTEMS INC.

株式会社
アドミラルシステム

〒332-0023 埼玉県川口市飯塚1-18-8 TEL.048-259-5111(代表) FAX.048-259-3700